



シンフォニー

2018
spring

Vol.

48

特集

「第三次こおりやま男女共同参画プラン」が4月からスタートします! P2~5

▶ 第16回 郡山市男女共同参画 フェスティバル報告 P6~7

▶ 女性の活躍に向けて P8



a WHO initiative
セーフコミュニティ郡山
2018.2.2国際認証取得

シンフォニー(交響曲)には、
みんなの声を響き合わせたい
という想いが込められています。

「第三次こおりやま男女共同参画プラン」が4月からスタートします！

郡山市では、男女共同参画推進条例に基づき、「男女共同参画のまち 郡山」の実現に向けて取り組むべき施策を総合的に定めた「第三次こおりやま男女共同参画プラン」を策定しました。その概要をお知らせします。



詳細は右のQRコードからご覧いただけます▲



策定の趣旨

本市では、2001年に「人間尊重」を基本理念とする「こおりやま男女共同参画プラン」、2009年には「第二次こおりやま男女共同参画プラン」を策定し、男女共同参画社会実現のため、さまざまな施策を推進してきました。

しかしながら、2016年に実施した「男女共同参画に関する市民意識調査」では、依然として社会のさまざまな場面において、男女間の意識に大きな違いが見られます。

男女共同参画社会の実現は、国の最重要課題にも位置付けられており、市民一人ひとりが理解を深め、行政、市民及び事業者がそれぞれの役割を担い、協働により、さらなる取り組みを行う必要があることから、「男女共同参画のまち 郡山」の実現に向け、前プランの考え方を継承しつつ、社会情勢の変化等による新たな課題に的確に対応するため、「第三次こおりやま男女共同参画プラン」を策定しました。

計画期間

2018年度～2025年度（8年間）

基本目標

本プランは右の5つの「基本目標」を掲げています。

この「基本目標」を推進していくためには、一人ひとりがこれまで「あたりまえ」と思ってきたいろいろなことを見直していく必要があります。そして、市民、事業者と行政が連携・協力し合いながらこの考え方を社会に浸透させていくことが大切です。

5 安全・安心な暮らしの実現

4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

3 あらゆる分野における女性の活躍の促進

2 すべての市民が人権を尊重される環境づくり

1 男女平等を基本とした男女共同参画社会の実現

それぞれの基本目標は3～5ページで詳しく紹介します



基本
目標

1 男女平等を基本とした 男女共同参画社会の実現

「男だから・・・」「女だから・・・」といった固定的な性別役割分担意識は、根深く残っているのが現状です。市民意識の調査結果からも、男女平等意識について社会全体で「男性が優遇されている」と考える方が73.9%と多くなっています。この傾向は国でも同様に現れています。

性別などにより個人の生き方を制限されることなく、その個性と能力が十分に発揮できるよう、男女共同参画意識の普及・啓発やジェンダー(*)に敏感な視点に立つ男女平等教育に取り組み、男女平等を基本とした男女共同参画社会の実現を目指します。

※ジェンダー…「社会的性別」。社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」のこと。

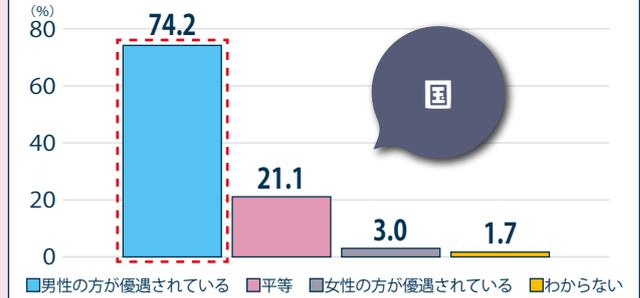
データでみる現状

社会全体における男女の地位の平等観



郡山市男女共同参画に関する市民意識調査 (2016年)

【参考】



内閣府「男女共同参画に関する世論調査」 (2016年)

基本
目標

2 すべての市民が 人権を尊重される環境づくり

男女共同参画社会は、すべての人々が互いの人権を尊重し合い、ともに社会を構成する一員としての自覚を持つことではじめて実現するものです。

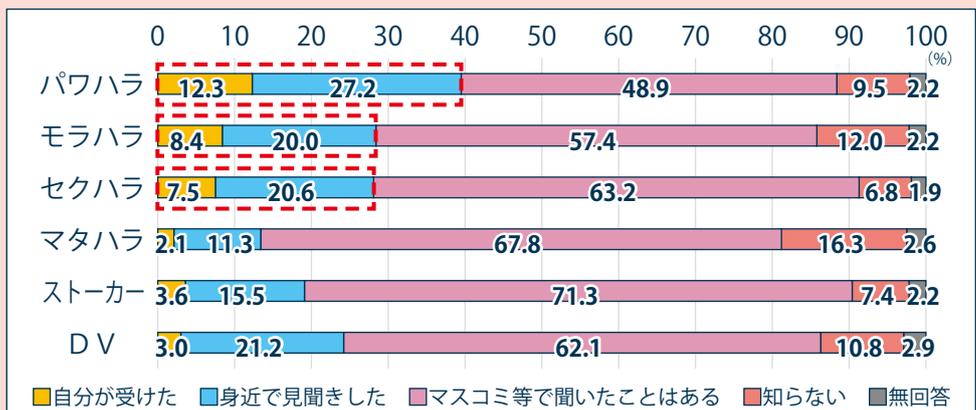
私たちは、一人ひとりが憲法で「基本的人権」を保障されており、誰もが性別や国籍等にかかわらず「自分らしく」生きることができる社会の実現のため、人権尊重意識の醸成やハラスメント等により困難な立場にある市民への支援を進めます。



データでみる現状

人権侵害を「自分が受けた」又は「身近で見聞きした」と答えた方の割合は、「パワハラ」が39.5%で最も多く、次いで「モラハラ」28.4%、「セクハラ」28.1%の順となっており、被害は身近なところで発生していることがわかります。

あなたは、次のような人権侵害を受けたり、身近で見聞きしたことがありますか



郡山市男女共同参画に関する市民意識調査 (2016年)

基本目標

3 あらゆる分野における女性の活躍の促進

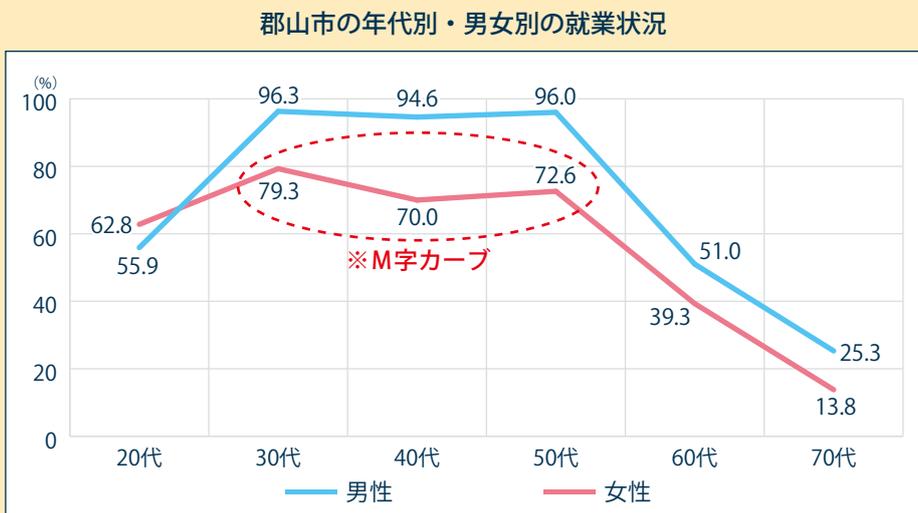


すべての市民が、年齢や性別にかかわらず社会の対等な構成員として認め合い、その個性と能力を発揮し、あらゆる分野で一層活躍していくために女性人材の育成や女性の参画促進を推進します。

データでみる現状

本市では、30代以降の女性の就業状況は、男性に比べ低い傾向にあります。

また、40代女性の就業状況がその前後の年代と比べて低く、女性が結婚や出産等を理由に離職することによる「M字カーブ」と言われる現象が見られることから、就業を継続するための支援が必要です。



郡山市男女共同参画に関する市民意識調査 (2016年)

基本目標

4 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) の推進

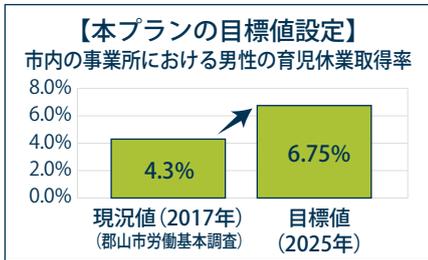
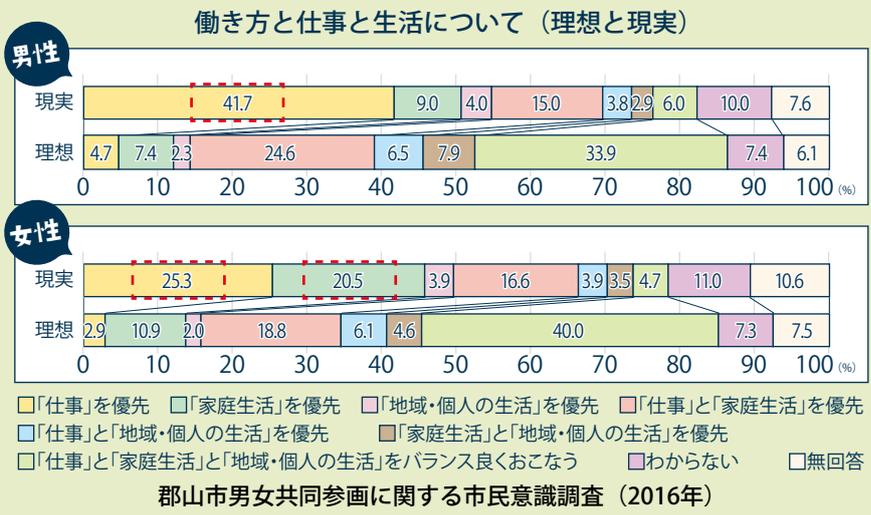


市民一人ひとりが、生きがいや充実感を得ながら働くことができ、家庭や地域生活においても主体的に参画することができるよう仕事と生活の調和を推進します。

ワーク・ライフ・バランスの推進には、男性の家庭生活への参画も重要です。本プランでは、「市内の事業所における男性の育児休業取得率向上」に向けた取り組みを推進していきます。

データでみる現状

ワーク・ライフ・バランスに関する理想と現実には大きなギャップがあります。理想では両立を希望する人が多いですが、現実では男性は「仕事」、女性は「仕事」又は「家庭生活」を優先する方の割合が多くなっています。



5 安全・安心な暮らしの実現



生涯を通じて、安全に安心して暮らすことができるようにあらゆる暴力の根絶や女性の視点を取り入れた防災体制の整備、セーフコミュニティ活動の推進等の様々な取り組みにより男女共同参画を進めます。

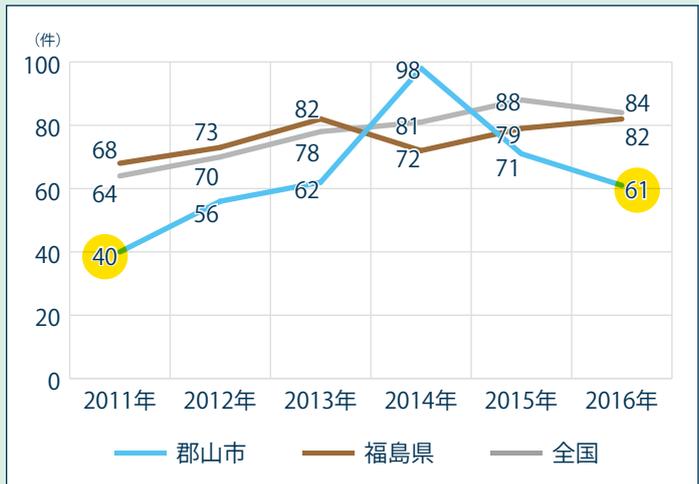
データでみる現状 (セーフコミュニティ活動より)

人口10万人当たりのDV相談件数は、本市は全国・県と比較すると低い値ですが、2016年は**2011年の1.5倍**の相談件数となっています。このため、あらゆる暴力に対して、安心して相談できる相談窓口の周知やいじめや暴力防止についての正しい理解普及のための活動（出前講座等）を実施しています。この取り組みは、本市が推進しているセーフコミュニティ活動の中でも関係団体等と連携を図りながら実施しています。



防犯対策委員会の様子

人口10万人当たりのDV相談件数



内閣府「配偶者暴力相談センターにおける配偶からの暴力が関係する相談件数などの結果について」郡山市こども家庭相談センター「平成23～28年度相談等の取扱件数」より

コラム

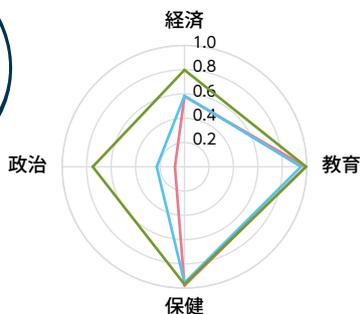
ジェンダーギャップ指数を知ってますか？

ジェンダーギャップ指数とは、国ごとの男女格差を測る指標で、経済、教育、政治、保健の4つの分野のデータから作成されます。日本の順位は144か国中114位（2017年）となっており、経済参画や政治参画の分野で世界平均を下回っています。

男女の格差をなくすために、もっともっと男女共同参画を推進していこう！



ジェンダーギャップ指数



— アイスランド(1位) — 平均 — 日本(114位)

世界経済フォーラム
「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書」より作成

セーフコミュニティ活動の推進

セーフコミュニティは、WHO（世界保健機関）が推奨する「けがや事故の予防活動」の認証制度です。本市は、市民の皆さん一人ひとりが安全に安心して生活できるまちづくりを実現するために、平成26年の取組宣言以降、「交通安全」「こどもの安全」「高齢者の安全」「自殺予防」「防犯」「防災・環境安全」の観点から地域住民、関係機関等で力を合わせて課題解決に向けた取組を推進してきました。この取組が認められ、平成30年2月に国内で15番目・福島県初となる認証を取得しました。今後も、より一層安全・安心な暮らしの実現に向けた取組を推進していきます。



2018.2.2 セーフコミュニティ国際認証取得

みなさんと一緒に
「男女共同参画のまち 郡山」を
つくっていきましょう！



品川郡山市長

会場 2月24日25日
郡山市民文化センター

2月
24日

オープニングセレモニー



郡山商業高等学校チアリーディング部のオープニングアトラクションに続いて、郡山市男女共同参画推進事業者表彰式を行い、女性活躍や仕事と家庭の両立支援など、男女がともに働きやすい環境づくりに積極的に取り組んだ3事業者を表彰しました。次の男女共同参画作文コンクールの表彰式では、優秀者の表彰及び最優秀作品の発表がありました。

男女共同参画 推進事業者表彰受賞者

受賞事業者の取り組み内容はこちらから確認ください→



- (右から)
- 郡山運送株式会社様
 - 株式会社郡山塗装様
 - 積水ハウス株式会社郡山支店様
- (五十音順)

男女共同参画 作文コンクール優秀賞受賞者

テーマ
「今思うこと、出来ること」

中学生の部

最優秀賞



郡山ザベリオ学園中学校 1年
阿部 夢さん

優秀賞



郡山ザベリオ学園中学校 1年
工藤 みなみさん

優秀賞



緑ヶ丘中学校 1年
松崎 萌香さん

高校生の部

最優秀賞



今泉女子専門学校 2年
大藤 里純さん

優秀賞



第一学院高等学校郡山 2年
本多 淑葵さん

最優秀賞 「今思うこと、出来ること」

郡山ザベリオ学園中学校 1年 阿部 夢さん

「耳の聞こえない人にとって、聞こえないということ以外で、不自由に思うことや大変なことは何だと思う？」

と、祖母に言われて考えた。音や音楽が聞こえない大変さしか思い浮かばなかった。

「耳が聞こえないことが、外からは見えないということ。」

と、要約筆記者として、耳の聞こえない人や聞こえにくい人への支援活動をしている祖母が教えてくれた。例えば、いざという時のアナウンス。本人は聞こえない。でも、聞こえないことが、周りの人には分からないから、教えてあげられない。障がいがあることを気付かれないという点ではいいのかもしれない。でも、大切な情報が届かないことにもなる。命に係わる情報かもしれない。それが祖母の言う、聞こえない人の大変さだ。

母は、私が生まれる前から、腎臓の病気と闘っている。毎月の検査も毎日の薬も欠かせない。私が幼稚園の時には入院もした。現代の医学では、透析か臓器移植以外に治療法はないという。タンパク質や塩分制限があり、運動も制限され、人一倍疲れやすい。でもこれは、家族や友人など限られた人しか知らない。外での母は、元気だし、明るいし、見かけは普通だ。だから、母の病気を知らない人は母の大変さを知らない。母の病気も、見えない病気と言えそう。そう母に話したら、「腎臓が悪いって分かってもらった方が、断る時や休みたい時に、楽なだけだね。」

と、母は笑って言った。

実は私も、見えない病気を抱えている。生まれてすぐからのアトピー性皮膚炎と喘息、そして食物アレルギー。アトピー性皮膚炎は定期的に検査して塗り薬と飲み薬が欠かせない。喘息は、体調が悪い時や気圧の変化で発作が出るので、その時に対応できる準備がしてある。食物アレルギーはここ数年でひどくなり、今は、牛肉も鶏肉も豚肉も、鮭も秋刀魚も鮪も食べられない。成長期の私に、どうやって栄養を摂らせるか、母は頭を悩ませている。外食もできない。このことも限られた人しか知らない。

母の病気を知り、生まれてすぐから病院通いをしてきたこともあり、幼稚園の頃には医師になりたいと思っていた。今は、生まれた時から診て下さっている主治医の先生の影響で、小児科の医師になりたいと思っている。

祖母から聞く障がいのある方の話は、どんな医師を目指すかを考えるヒントになる。障がいは、見えないから生活しやすい、見えないから分かってもらえない、という両面がある。『見えたことだけでは決められない。』これは病気を診る医師にも言えることだ。

中学生の私に今できることは、医師になるために勉強することだ。さらに、見えない障がいや病気にも心配りができるような医師になれるよう、心も成長していきたい。



半沢実行委員長

第16回 郡山市男女共同参画

2月
24日

講演会

「可能性への挑戦」

逆境に打ち勝つ秘訣は、「へそ曲がり諦めない」、そして「悩まない」。

私は、大学卒業の際、教員採用試験に合格していましたが、後輩の急死をきっかけに、たった一つの人生、やりたいことをやりたいと思い、力士になることを決意しました。

出羽海部屋に入門後、1回目の新弟子検査では、身長が足りず不合格でした。普通はここで諦める所ですが、へそ曲がりな私は、どうしても力士になりたい気持ちから、頭にシリコンを入れて身長を高くし、2回目の検査でなんとか合格しました。

小兵力士の私は、入門時より親方から「お前は好きなことをやれ」と言ってもらい、大きな力士に勝てる方法をいろいろと考え、研究し、粘り強く挑戦し続けた結果、1991年の曙関戦では、懐に入り込む作戦が成功し、見事に勝ち星をあげることができました。

また、親方からは、「勝つために、考えるのはいいが、悩んではいけない」という大事なことを教えられました。力士人生、時には、いい加減に考え、悩まないように笑顔で生活することが、健康にいいし、勝つことにつながるというものでした。



講師 NHK大相撲解説者
まい うみ しゅうへい
舞の海 秀平さん

2月
24日25日

市民自主企画

市内で活動するグループの皆さんが、それぞれ企画した講座などを実施し、多くの市民の皆さんが参加しました。

企画名	主催
みんなで考えよう！ 私たちのくらしを守る憲法とは？	女性会議郡山支部 平和と民主主義を守る女たちの会(鳩の会)
スクエアダンスを楽しもう	あさかの学園スクエアダンス同好会
女性の歴史	まなびの会
震災から7年を振りかえる ～福島的女性にもたらされた被災～	NPO法人 ウィメンズスペースふくしま
ペットボトルですぐできる！ おしゃれなベンケース	郡山市婦人団体協議会
認知症カフェ調査研究報告・ 海外派遣帰国報告会	(一社) 国際女性教育振興会福島県支部県中地区

2月
25日

ふれあい発表会

さんかくプラザで活動している踊りや音楽のサークルの皆さんが日頃の練習の成果を発表しました。

あじさいフォークダンスクラブ／阿波踊り「あさか連」／薫花架拳愛好会／華翔クラブ(花架拳)／静山流静慧会福島県(詩舞)／太極剣研究会／筍の会(合唱)／華の舞(日本舞踊)／ハワイアンフラ愛好会／福島県退職公務員連盟郡山支部(合唱)／フルーツアンサンブル・ドルチェ／友・遊太極拳クラブ／朗読グループハイジ (五十音順)



イベント

期間中、子どもから大人まで楽しめるイベントを郡山市立美術館の協力により開催しました。

クレヨン作り・絵描き



紋切り遊び



2月
24日25日

展示コーナー

さんかくプラザで活動している団体の皆さんが、日頃の活動の成果を発表・展示しました。



女性の活躍に向けて



平成28年4月に「女性の職業生活における活躍推進に関する法律」が全面施行され、女性の活躍に対する社会的機運は益々高まっています。しかし、女性活躍を推進するためには、「男女の給与格差」や「女性の貧困」等の課題を解決する必要があります。今回は女性活躍に向けた本市での取り組みをご紹介します。

取組1 講演会の開催

～若年女性のリアル～
著書「ルポ貧困女子」から
見える現状と支援の取り組み



飯島裕子さん

東京都生まれ。ノンフィクションライター。大学卒業後、専門紙記者、雑誌編集を経てフリーランスに。人物インタビュー、ルポルタージュを中心に取材、執筆を行っているほか、大学で非常勤講師を務めている。一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了。

平成30年1月22日にノンフィクションライターの飯島裕子さんから若年女性の貧困についてご講演いただきました。講演では次のようなお話がありました。

見えづらい女性の貧困

働く単身女性の3人に1人は年収110万円以下の貧困状態にあると言われていますが、親と同居している女性など、この数値に表れない「貧困にすまれない女性たち」も存在しています。

貧困に至る経過

非正規職や無職の女性に取材したところ、女性の貧困は男性と比べて見えづらく、貧困に至る経過も様々ということが分かりました。高学歴や正社員経験がある女性が貧困に陥る場合や虐待など家族間のトラブルが原因で貧困に至る場合が少なくありません。

支援の取組

女性の貧困を解消する特効薬的な支援はありませんが、全国で少しずつ「若年無業女性向けの講座」、「個別就労支援」、「当事者の集い」などの支援の輪が広がっています。今後、これらの支援を継続していくことや、貧困に陥らないための支援（セーフティネット）を検討していくことが大切です。

取組2 女性の活躍推進ネットワーク会議

本市では、多種多様な団体が情報交換を行い、相互に連携を図ることで、あらゆる分野での女性の活躍推進を加速させることを目的に「女性の活躍推進ネットワーク会議」を設置しています。様々な分野の企業や団体にご参加いただき、セミナーや情報交換を通して女性の更なる活躍に向けた交流の場となっています。

平成29年度は、「人材育成」をテーマとして「働き方改革」に係るセミナー、人材育成に関する先進事業者による事例発表や参加者による意見交換を行い各団体のエンパワーメントの促進を図っています。

会議詳細や活動報告書は、右のQRコード又は、検索バナーで「郡山市 女性活躍推進事業」と検索し、ご覧ください。



今年度は39の企業・団体に参加いただきました

郡山市 女性活躍推進事業



広告

明るい家庭は、安全、安心の職場から

男性も女性も平等に、能力を十分発揮できる職場づくりに取り組んでいます



株式会社 二嘉組

郡山市湖南町福良字家老 9401
TEL 024 (983) 2152 FAX 024 (983) 2305

広告



Engineering & Engineer Link

株式会社ニノテック

本社 / 〒963-8577 福島県郡山市島 2-44-2
支店 / 仙台 営業所 / いわき・福島・県南 出張所 / 南相馬

次世代育成支援マーク「くるみん」認定を受けました
当社は「子育てサポート企業」として、子育てをしながら安心して働ける職場環境作りに取り組んでいます。



この印刷物は、環境にやさしい FSC®認証紙と植物油インキ、UDフォントを使用しています。紙へリサイクル可。